

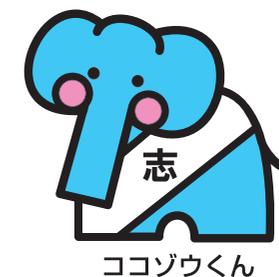
# 伊藤ひろし県議会報告

## 事務所開設のお知らせ

日頃より皆様には大変お世話になっております。  
 この度、私「伊藤ひろし」は今後の活動の拠点となる事務所を開設しました。  
 近隣の皆様方には特にご迷惑をお掛けすることとなりますが、配慮に  
 務めた活動を考えております。何卒、ご理解を宜しくお願いいたします。



住所: 習志野市谷津2-1-15  
 (以前より県議会議員事務所として  
 お世話になっている場所です。)  
 電話: 047-779-3385



HPはこちら

小林たかゆき国



伊藤ひろし県

## 県と国の緊密な連携

～習志野市に関する～

今後の課題

- (自然) 谷津干潟アオサ悪臭対策—海水交換通路(国道357号線下の3水路)の補修工事と堆積除去
- (防災) 市内3河川の氾濫被害軽減—①水門・排水機場の設置  
②「危機管理水位計」と「河川監視カメラ」の設置  
・介護や障がい者施設の停電対策—非常用発電設備の設置
- (福祉) 産前・産後ケアの継続支援—出産準備クーポン支給や家事支援、保健師・助産師の自宅  
面談など妊婦や新生児の母親支援(妊婦～2歳)  
・児童虐待防止—児童養護施設の整備
- (教育) 教員の負担軽減・多忙化解消—1学校当たりの教員数の増加に向けた教員人件費の増額  
・部活動の地域移行(地域指導者による指導)—教員でも指導できる体制の構築
- (交通) 円滑な物流を支援する道路の渋滞解消—  
①京葉道路「千葉西料金所・東関東自動車道との合流付近」の円滑な交通環境  
②国道14号・357号線の渋滞対策に向けた「第二湾岸道路」の早期具体化
- (都市) 鷺沼農地の新たなまちづくりの着工・完成—事業に係わる継続的な予算の補助  
・旧県職員住宅跡地【泉町2・3丁目】の利活用の早期実現—「A事案区域(毒ガス弾等の存在の可能性のある区域)」に該当することから速やかな土壌調査完了に向けた予算確保

# 新聞に掲載されました

千葉日報 県議会答弁要旨

2019(令和元年)12月10日掲載

## 湾岸部の水道管耐震化44%

玉田浩一企業局長は、2018年度末時点の耐震化率が「前年度末比4・1割増の44・2%になった」と報告した。湾岸地域の管路は、11年の東日本大震災の際に液状化被害が生じたことから優先的に耐震化を進めており、中期経営計画で20年度末の耐震化率目標を「51・5%」に設定。玉田局長は、目標達成が可能とした上で「さらなる(耐震化率の)向上に努める」と説明した。

伊藤 寛議員 自民  
県営水道の水道管路の湾岸埋め立て地域での耐震化状況を聞いた。



2020(令和2年)12月10日掲載

## 応急給水実施へ10市と覚書

岡本和貴企業局長は「災害時の応急給水活動は給水区域各市と連携しながら身近な拠点を構築するのが重要。学校などで応急給水が実施できるよう各市と覚書を締結している」と説明した。未締結の松戸市を除く10市に仮設給水栓約200本を貸与し、合同で訓練を実施。災害時の円滑な給水のため給水栓の場所が一目で分かる情報管理システムの2021年中の整備も目指す。

伊藤 寛議員 自民  
災害時に県営水道と給水区域11市が行う応急給水の準備状況を聞いた。



2021(令和3年)12月10日掲載

## 踏切道の長時間遮断対応へ

池口正晃県土整備部長は、警察等との連絡体制や長時間遮断の解消手順等を定めた「災害時の遮断機の管理方法」について「県内8カ所が必要とされており、2022年6月末までに管理方法を策定する」と説明した。土砂災害警戒区域への対応では、新たに指定を見込む1万744カ所について、熊谷俊人知事が「来年度から現地調査を行い、25年度末までの完了を目指す」と述べた。

伊藤 寛議員 自民  
発災時の踏切道の長時間遮断対応など災害対策について尋ねた。



2022(令和4年)6月10日掲載

## 部活移行、指導の機会確保

佐々木悟教育次長は、競技経験のない教員の負担軽減が目的とした上で「専門性や技能を有する者もおり、希望する教員が兼職・兼業で地域での指導ができるよう機会確保に努める」と答弁。池口正晃県土整備部長は県道長沼船橋線の安全対策に関して「2013年から習志野市実町から藤崎地先までの歩行空間の整備を進めている。藤崎小学校付近は必要な対策を検討する」とした。

伊藤 寛議員 自民  
公立中学校の部活動地域移行に関する教員の処遇などを聞いた。



# 明日への架け橋



伊藤ひろし  
参議院議員  
うすい正一  
県議会議員

## 県と国の緊密な連携

私伊藤ひろしは、国会議員との強固なつながりを活かして

- ① 持続可能な自立的都市経営の構築
- ② 市民の安全安心な生活づくり
- ③ 世界から敬愛され社会で自立する子どもたちの教育環境

に向けて、習志野市のまちづくりの理念「文教住宅都市」の伸展に確実に取り組めます。



石井準一 参議院議員 (議会運営委員会委員長)

# これから取り組みたいこと

- 1 東京湾をきれいに守る** 14  
海岸漂着物(テトラポット内の滞留物)の撤去による海洋プラスチックのゴミ対策など
- 2 直下地震・集中豪雨の減災** 11 13  
土砂災害の被害軽減—新たな災害警戒区域の早期指定とハザードマップへの反映など
- 3 女性活躍を推進する 福祉・医療・子育て** 3 5  
介護士・保育士の給与増など処遇改善など
- 4 教育環境の進化** 4  
県立高等学校のデジタル人材の育成—必修新科目「情報I」の質の高い授業展開に向けたIT指導の外部講師の活用(専門教員不足の補充)など
- 5 未来へのまちづくり構想** 8 11  
市内経済の発展・活性化—成田空港~羽田空港の鉄道・高速道路の沿線立地を活かした地元特産物・ふるさと産品の外国人観光客への販路拡大など
- 6 市の持続可能な行財政運営** 11  
下水道処理機能の県との広域化・共同化など



## 伊藤ひろし プロフィール

- 経歴：1975年10月生まれ(47歳),東海大学付属望洋高校卒(野球部・現東海大学付属市原望洋高校),東海大学政治経済学部卒(景気観測の研究),習志野市議会議員当選(3期),千葉県議会議員当選(1期)
- 家族：妻(市立習志野高校ソフトボール部OG)長男
- 地域活動：スポーツ協会、ソフトボール協会、消防団、交通安全協会、菊田神社青年会、明治神宮崇敬会、青年会議所OB、習志野中央ロータリークラブ
- 選挙：皆様のおかげで習志野市議3期(12年)連続1位当選。千葉県議会議員1期(4年)1位当選させて頂きました。心から感謝しております。
- 資格：中学・高校教員免許、防災士
- 趣味：茶道、読書、野球

引き続き、「習志野 ずっと住みたい まち計画」をスローガンに、世界一の都市創造に向けた一環「市民の命を守るまちづくり」に向けて活動していく所存です。皆様のご指導を宜しくお願い致します。

伊藤 寛